

2020年3月期第2四半期 決算補足資料

2019年11月13日



(東証二部 9857)

2020年3月期 第2四半期 連結決算概要 … P.3

2020年3月期 連結業績見通し … P.15

2020年3月期第2四半期 連結決算概要

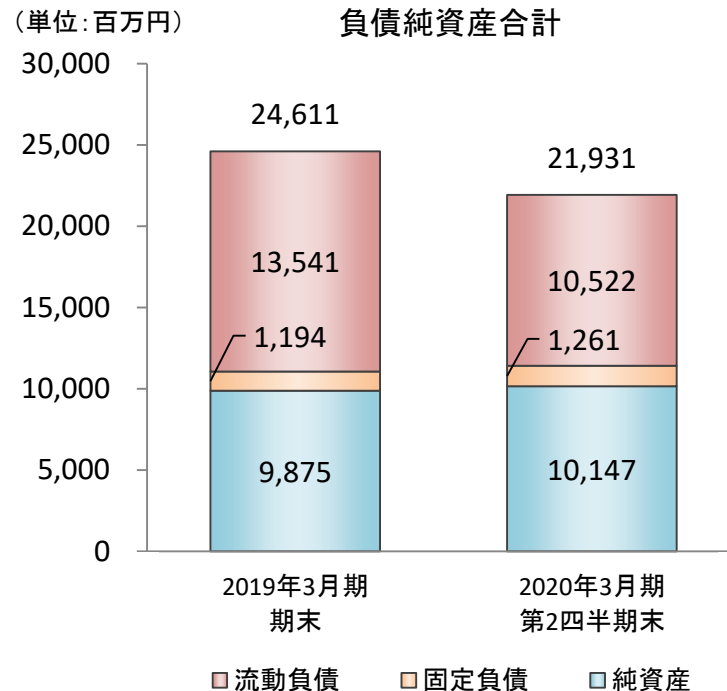
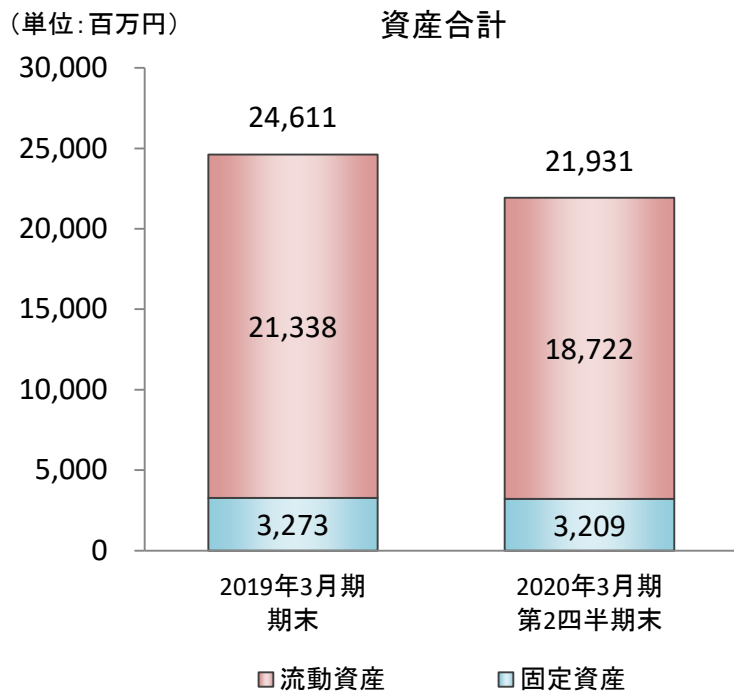
(単位:百万円)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	前年 同四半期比	2020年3月期 業績見通し
売上高	16,251	16,924	+ 672	+ 4.1%	38,000
営業利益	458	648	+ 190	+ 41.6%	1,500
経常利益	496	674	+ 177	+ 35.7%	1,560
親会社株主に帰属する 四半期純利益	312	444	+ 132	+ 42.2%	1,000

決算の概況

- 舶用機器製造業や電力会社向けの販売が減少したものの、新たな排ガス規制導入に関連して社会インフラ市場で使用される産業車両の販売が増加したことや、プラント・エンジニアリング、化学品製造業、鉄鋼製品製造業向けで定期修理による機器の更新需要が堅調に推移したこと、また10月1日に実施された消費増税による影響もあり、当初第3四半期以降に見込んでいた機器の販売が前倒しで推移し、高付加価値営業の取組みによる採算性向上も寄与しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

バランスシート(連結)



2020年3月期第2四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率 : 46.3% (2019/03時点 40.1%)

資産

【増減の主な要因】 (単位:百万円)

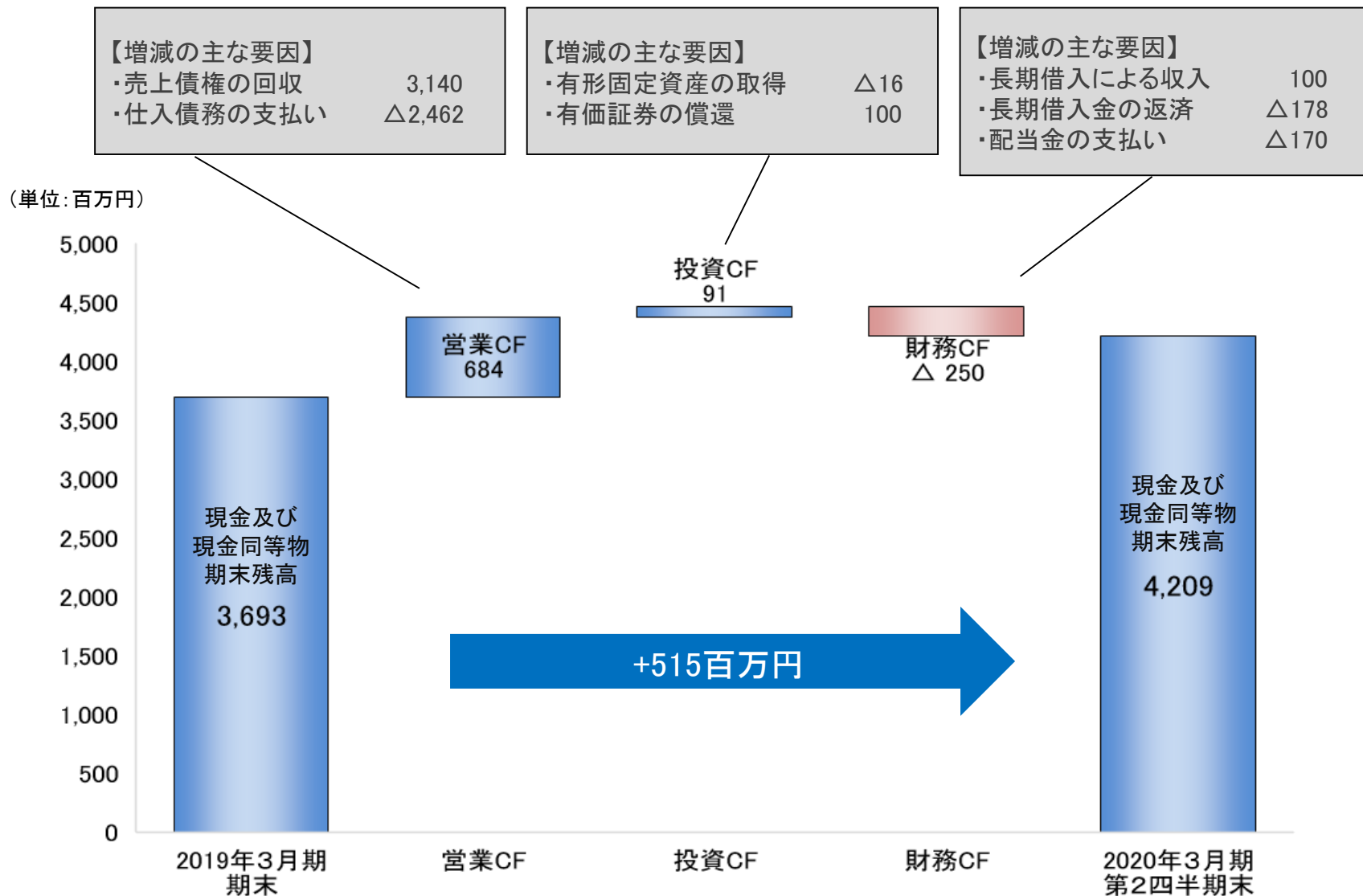
- ◆受取手形及び売掛金: 売上債権の回収が進んだことによる減少
11,584(△2,857)
- ◆たな卸資産: 受注済在庫の増加
823(+173)

負債・純資産

【増減の主な要因】(単位:百万円)

- ◆支払手形及び買掛金: 仕入債務の決済が進んだことによる減少
4,707(△1,555)
- ◆電子記録債務: 仕入債務の決済が進んだことによる減少
4,691(△912)
- ◆純資産: 配当の支払い等により減少したが、四半期純利益により増加
10,147(+272)

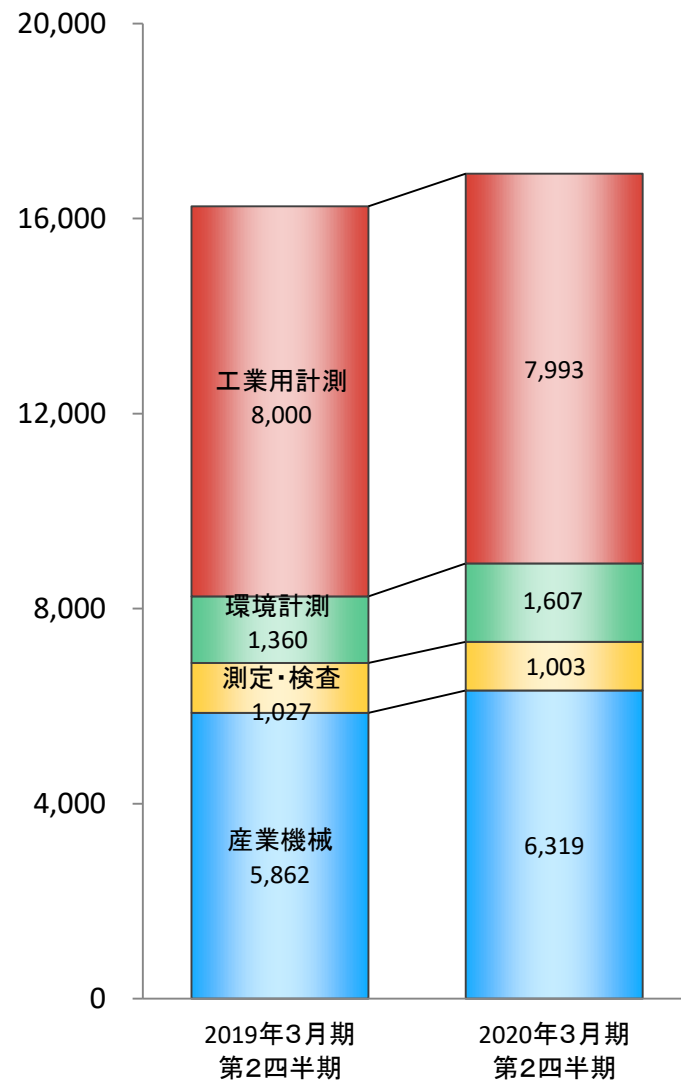
連結キャッシュ・フロー



品目別売上高

(単位:百万円)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	8,000	7,993	△ 0.1%	47.2%
環境計測・ 分析機器	1,360	1,607	+ 18.2%	9.5%
測定・ 検査機器	1,027	1,003	△ 2.4%	5.9%
産業機械	5,862	6,319	+ 7.8%	37.4%
合計	16,251	16,924	+ 4.1%	100.0%

(単位:百万円)



工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー ◆制御機器
- ◆受信機器 ◆情報通信・変換機器

取扱い商品一例



IoT予兆保全システム

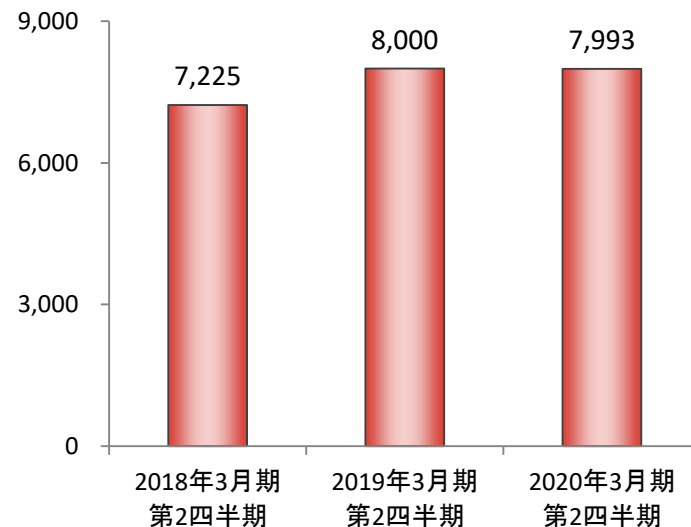


電波レベル計



グラフィックレコーダー

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

79億93百万円(前年同四半期比0.1%減)

働き方改革や生産性向上を目的に生産設備の自動化につながるIoTを活用した情報通信機器の提案、安心・安全に関連する機器、老朽化した生産設備の更新提案活動を実施しました。その結果、鉄鋼製品製造業向けで老朽化した設備に付帯する機器の更新や生産性向上につながる情報通信機器の需要を取込んで販売が増加したものの、船用機器製造業向け各種センサーの販売が減少しました。

環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例



全窒素・全りん測定装置

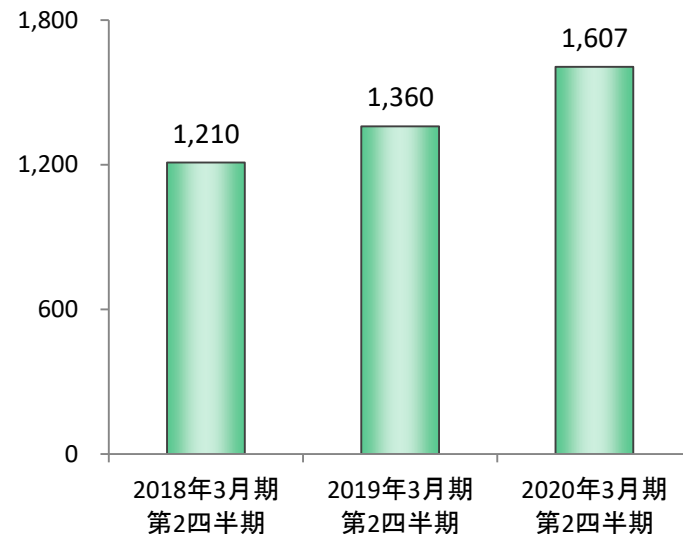


地震計



複合ガス検知器

(単位: 百万円)



<当第2四半期売上高>

16億7百万円(前年同四半期比18.2%増)

水銀規制等の環境法令順守を契機として環境計測・分析機器の導入や、老朽化した機器の更新提案活動を実施しました。その結果、機械製造業向けで販売が減少したものの、鉄鋼製品製造業、プラント・エンジニアリング向けで定期修理に伴う大気分析計や水質計等の更新需要が堅調に推移しました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器 ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器 ◆電力監視機器・システム

取扱い商品一例



工業用内視鏡

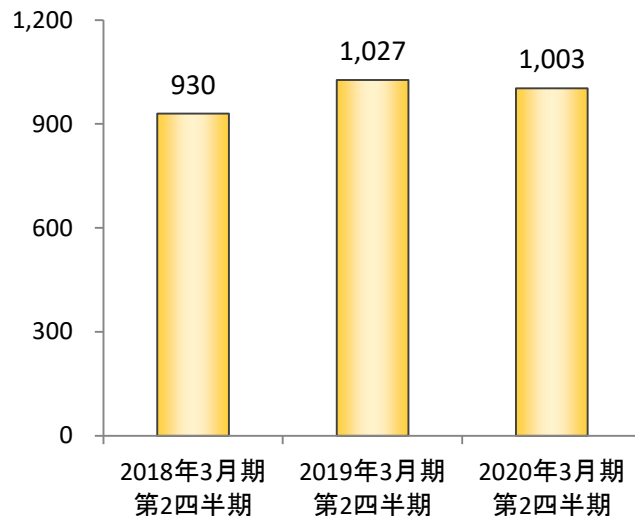


顕微鏡



三次元測定器

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

10億3百万円(前年同四半期比2.4%減)

研究部門、品質保証部門に対して高品質な製品の開発や品質の向上・安定化につながる各種測定・検査機器の提案、生産設備の保守点検に使用される保安メンテナンス機器の販売に取り組みました。その結果、化学品製造業や鉄鋼製品製造業向けで大口の検査装置の販売があり増加したものの、舶用機器製造業向けで販売が減少しました。

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器 ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械 ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例



ポンプ

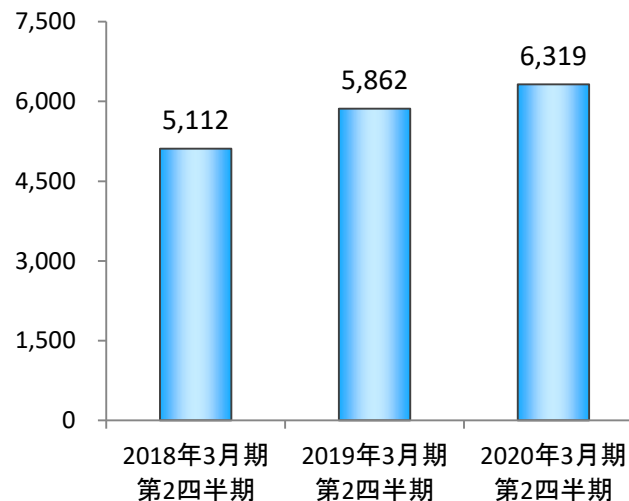


路面清掃車



濾過装置

(単位:百万円)



<当第2四半期売上高>

63億19百万円(前年同四半期比7.8%増)

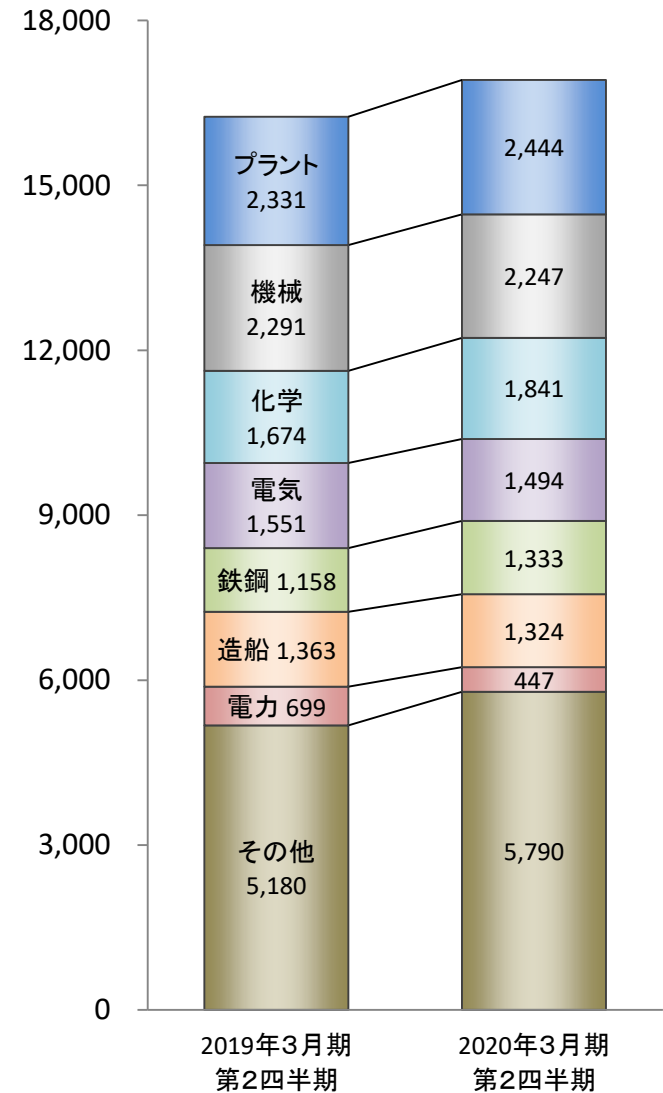
災害対策に関連する産業車両や産業機器、省エネルギー性の高い機器、老朽化した設備の定期修理を契機とする機器の更新提案を実施しました。その結果、電力会社向けで販売が減少したものの、産業車両に関しては、新たな排ガス規制導入や消費増税の影響により社会インフラ市場向けの販売が増加しました。また鉄鋼製品製造業向けで老朽化した設備に付帯する機器の更新に伴いポンプ、バルブの販売が増加したことや、化学品製造業向けで大型製造機械の導入需要を取込み、販売が増加しました。

(単位:百万円)	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	2,331	2,444	+ 4.9%	14.4%
機械	2,291	2,247	△ 1.9%	13.3%
化学	1,674	1,841	+ 10.0%	10.9%
電気	1,551	1,494	△ 3.7%	8.8%
鉄鋼・非鉄金属	1,158	1,333	+ 15.1%	7.9%
造船	1,363	1,324	△ 2.8%	7.8%
電力	699	447	△ 36.0%	2.7%
その他	5,180	5,790	+ 11.8%	34.2%
合計	16,251	16,924	+ 4.1%	100.0%

増減要因

- ▶ 生産性を向上するための自動化投資、老朽化した設備に付帯する機器の更新需要を取り込み、プラント・エンジニアリング、化学品製造業、鉄鋼製品製造業向けの販売が堅調に推移しました。
- ▶ 電力会社や船用機器製造業向けで大型案件の引合いが一段落したことにより、機器の販売が減少しました。

(単位:百万円)

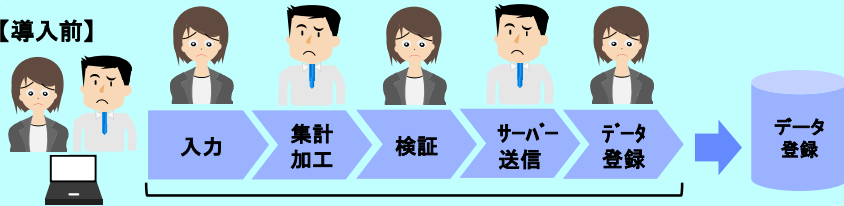


生産性向上に向け、RPA(*)を導入

(*)RPA・・・Robotic Process Automation

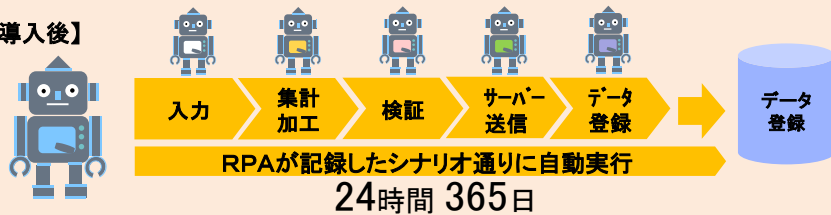
- 働き方改革が強く求められる変化の時代において、生産性向上のため、RPAを導入
 - (目的) ・限られた時間の中で生産性を向上させ、より価値の高い仕事に時間を割り当てる
 - ・労働人口の減少による人手不足の解消
 - ・作業精度と安定性の高さを活用し、データを作成
- お取引先に対してもRPAの提案営業活動を展開

【導入前】

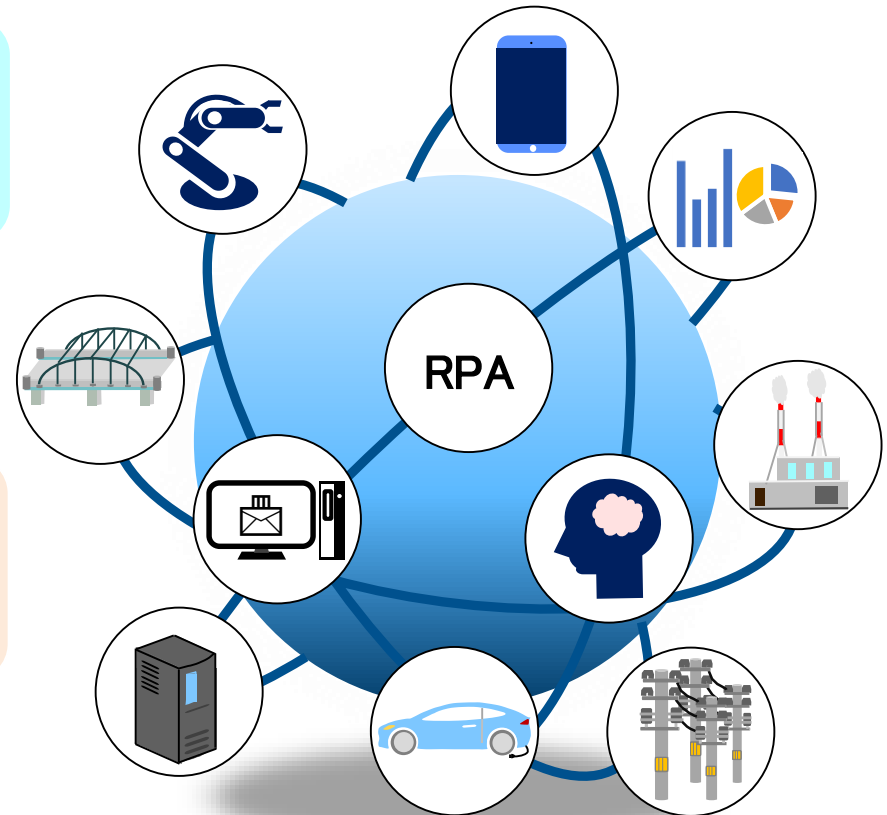


- 定型業務を都度人手で対応するため工数の削減が困難
- 入力者によって業務品質に差が生じる
- 集計するための情報を閲覧しにくい煩わしさがある
- 入力ミスや入力内容の確認作業から起因する精神的負担

【導入後】



- 定型業務からの解放により、工数の削減が実現
- 作業精度の向上と安定性の高さを実現
- 属人的業務の解消により、業務の標準化を実現
- 付加価値の高い業務に取り組む時間を確保



IoTソリューションの提供

- 生産性向上に対応するため、生産現場の設備稼働状況を遠隔監視
- 各種センサーから収集したビッグデータを解析・分析し、予兆保全に活用

「計装」という時代から「IoT」へ

従来からご採用の計測制御システムは計装という言葉で表現されてきましたが、インベーションの一つであるIoTにより、言葉をなじみとして概念が根本から変わっております。とはいえ、まだがフィールド機器の最適化やラインの見えん化が自社の課題となっているお声に対して、クラウドサインは見聞をつつは元の会社からお付ささいできる、これが「計装」が70年以上ぶりできた、技術だからできるソリューションです。

例) 今までの設備監視システム

工場内 IoTソリューション

計装 × IoT

次世代テクノロジー

クラウド・AI

英和なら、ワンストップ。

計測・制御 SCADA・PLC 制御盤 ネットワーク ソフトウェア × 販売・構築

Industry4.0 >>

計装 × SCADA

10.5V
2.47 kts

BI

Web SCADA

AI IoT Web Sensor DataBase Potasyoku

eiwa-net.co.jp

IoT × 水処理遠隔監視

Camera PH Analysis Cloud

Flow Level

IoT × 予兆保全

Vibra IoT!

m/s² A Hz °C

IoT × 帳票ペーパレス

Paperless!

Big Paper

AI IoT Web Sensor DataBase Potasyoku

IoT × カメラ監視

AI IoT で All Cameras System

カメラ監視がアップデートする。

IoTソリューションページ
アドレス
<https://eiwa-iot.com/>



2020年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前年同期比
売上高	37,394	38,000	+ 605	+ 1.6%
営業利益	1,470	1,500	+ 29	+ 2.0%
経常利益	1,552	1,560	+ 7	+ 0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	941	1,000	+ 58	+ 6.3%
1株当たり当期純利益	148.68	158.00	+ 9.32	+ 6.3%

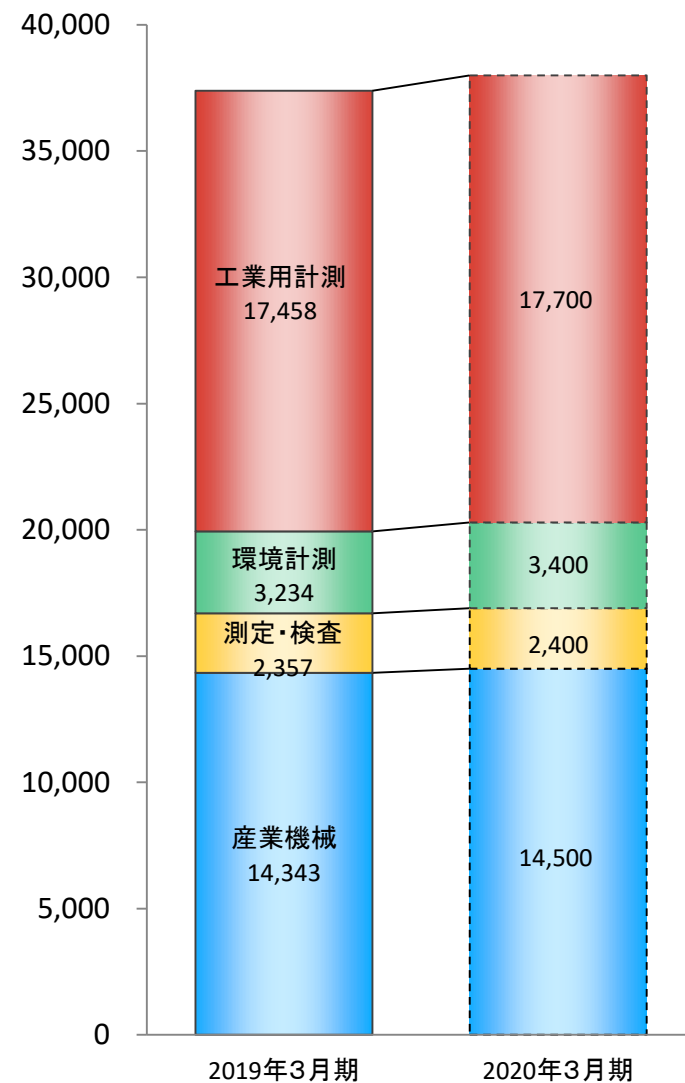
見通し

- 通期連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月15日に発表いたしました業績予想通り変更はございません。

品目別売上高見通し

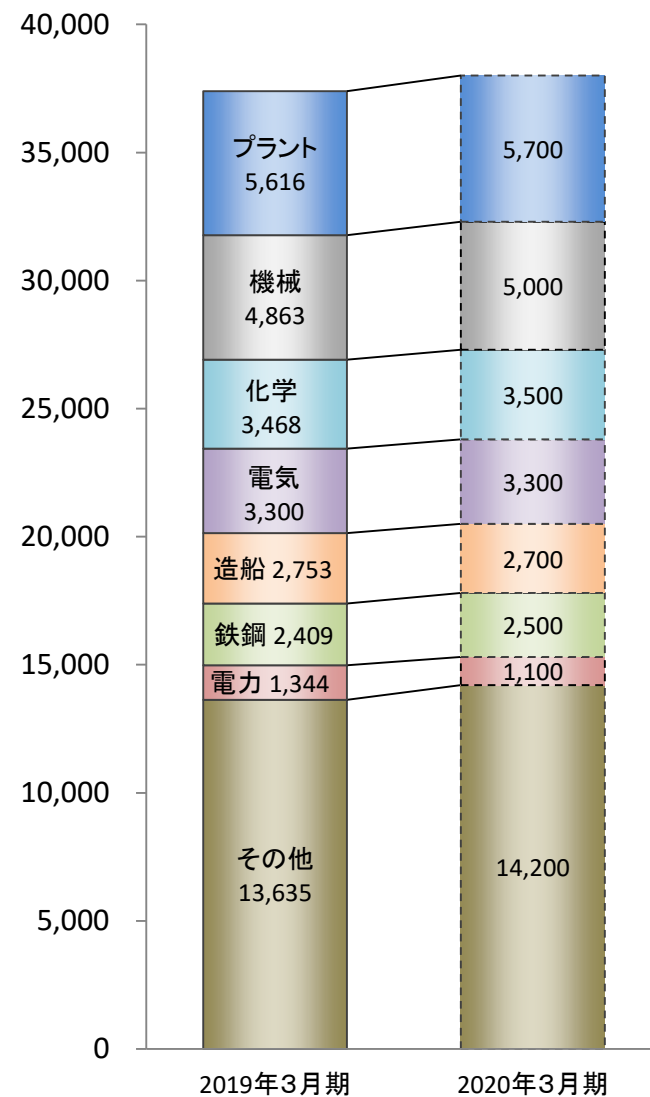
(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	17,458	17,700	+ 1.4%	46.6%
環境計測・ 分析機器	3,234	3,400	+ 5.1%	8.9%
測定・ 検査機器	2,357	2,400	+ 1.8%	6.3%
産業機械	14,343	14,500	+ 1.1%	38.2%
合計	37,394	38,000	+ 1.6%	100.0%

(単位:百万円)

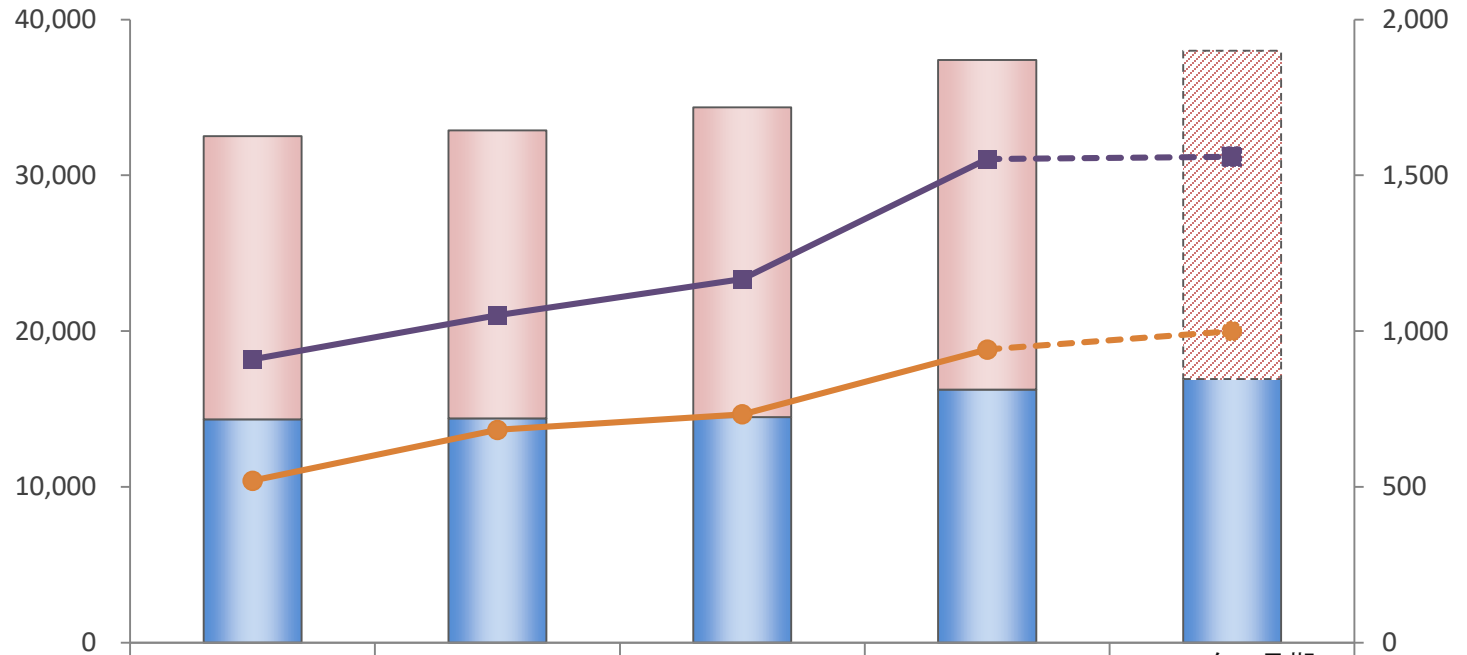


(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	構成比
プラント	5,616	5,700	+ 1.5%	15.0%
機械	4,863	5,000	+ 2.8%	13.1%
化学	3,468	3,500	+ 0.9%	9.2%
電気	3,300	3,300	0.0%	8.7%
造船	2,753	2,700	△ 2.0%	7.1%
鉄鋼・非鉄金属	2,409	2,500	+ 3.8%	6.6%
電力	1,344	1,100	△ 18.2%	2.9%
その他	13,635	14,200	+ 4.1%	37.4%
合計	37,394	38,000	+ 1.6%	100.0%

(単位:百万円)



(単位:百万円)



(単位:百万円)

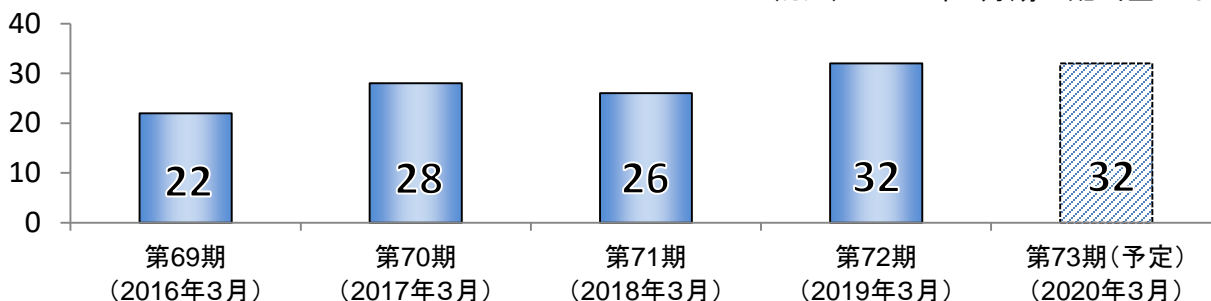
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (見通し)
■ 3~4Q売上高(左軸)	18,178	18,490	19,888	21,143	21,075
■ 1~2Q売上高(左軸)	14,332	14,396	14,479	16,251	16,924
売上高	32,510	32,886	34,367	37,394	38,000
■ 経常利益(右軸)	909	1,051	1,167	1,552	1,560
● 親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	520	683	733	941	1,000

普通配当

第69期 (2016年3月期)	第70期 (2017年3月期)	第71期 (2018年3月期)	第72期 (2019年3月期)	第73期(予定) (2020年3月期)
22円	(※1) 28円	26円	32円	32円

(単位:円)

(※1) 2017年3月期の配当金には、創業70周年記念配当2円が含まれております。



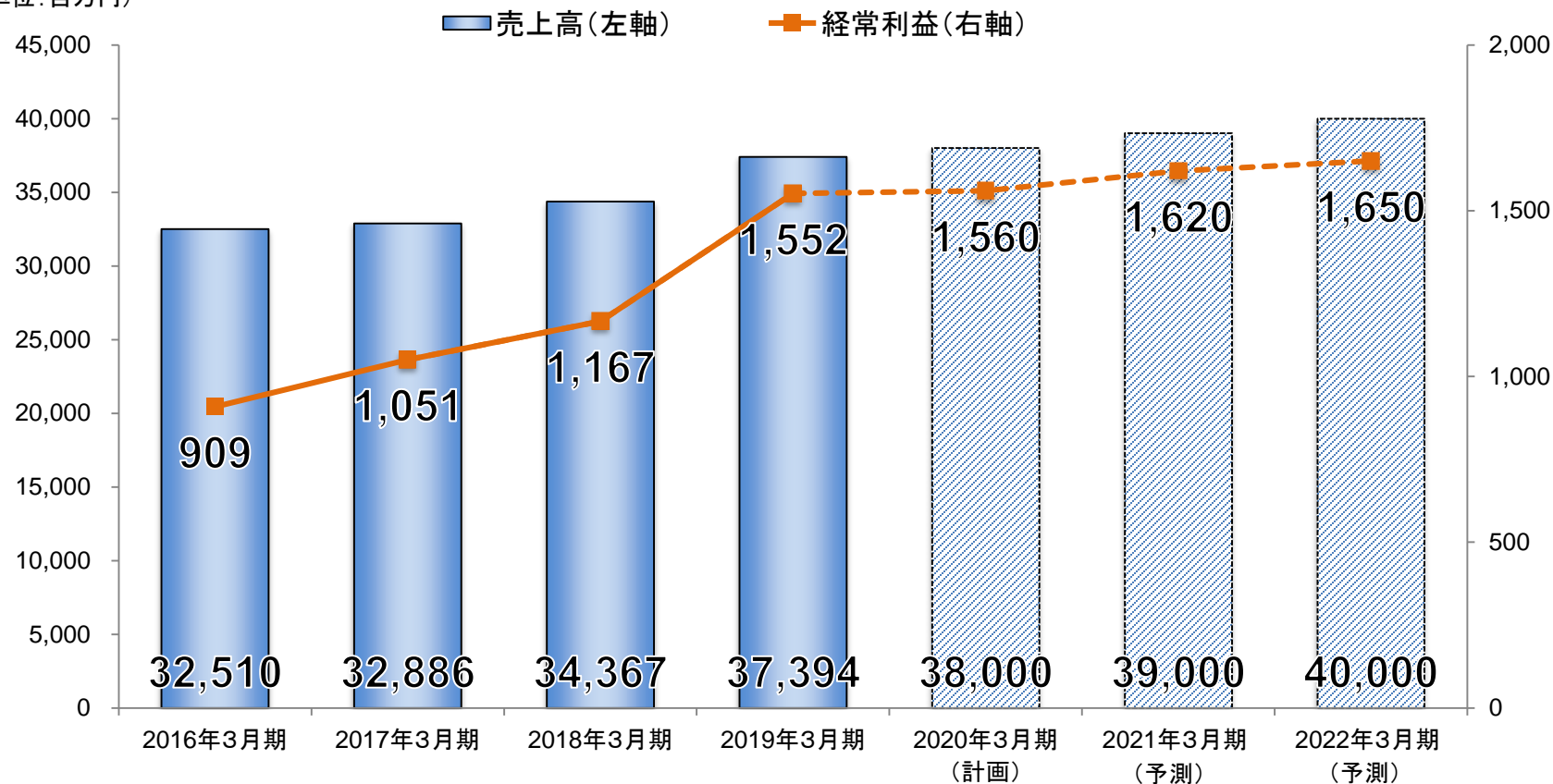
株主優待

1. 対象となる株主様 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします。
2. 優待の内容 以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします。毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送いたします。

保有株式数	継続保有3年未満	(※2) 継続保有3年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

(※2) 「継続保有3年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載されることとします。

(単位:百万円)



	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
ROE (株主資本利益率)	6.6%	8.2%	8.1%	9.8%	目標: 8.0%		

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。